

おうちの図工室・美術室

かげをつかまえる

対象学年 小学校3年生～中学校1年生

想定時間 最低2時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

あなたのうちにある懐中電灯やスマホや机に置いてあるライトなどを準備してください。周りが暗い方がやりやすいですよ。

例えば、目の前には筆箱やマグカップあったら、これからライトをあててみます。

ちょっとまって！！あてる前に、少し考えてください、どんな「かげ」ができると思いますか。

考えましたか。では光を当ててみましょう。どうですか、思っていた「かげ」ですか。

では、今度は懐中電灯やライトを動かすと「かげ」どうなりますか。振ってみたり、ぐるぐる回してみたりしましょう。もっと面白い動かし方があれば教えてください。

すると「かげ」の形がまったくかわってききましたね。

いまから、あなたの家にあるいろいろなものに、いろいろな場所へ光をあててみて

思いもしなかったよ！とか、おもしろい！とか不思議だなと思った「かげ」を紙にうつしとって、つかまえてみましょう。



かげをうつしとる紙は、画用紙でもよし、コピー用紙でもよしです。また、かくもの鉛筆でもよし、クレヨンや絵の具でもよしです。いろいろ試してみるのもよいですね。影をいろんな色で写し取ってみましょう。



1つでも、2つでも、3つでも…たくさんうつしとってみましょう。



一人でライトをあてながらうつしとるのが難しい場合は、ライトの当て方を工夫したり、家族にライトをもってもらったりしてみましょう。



「うつしとったものから感じたこと」について、文章で書きましょう。

ANCSとしてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

自己を深める

意図した形や偶然できた形などを通して、自分がよいと思うものやおもしろいと思うものについて色を使って表現することで造形的な価値づけをします。

深く見つめる

光の角度や光源との距離等によって影をつくり、写し取ることを通して、ものと光と影の関係について考え、身のまわりや自然の中にある美しさやおもしろさを感じ取ろうとすることを期待します。

三観点

知識・技能

光のあて方や影の形を試しながら、自分の表したい意図に合わせて、色彩や描き方等を工夫して表している。

思考・判断・表現

写し取った影から表したいことを見つけ、色彩や描き方等を活用し、表し方を考えている。

主体的に学習に取り組む態度

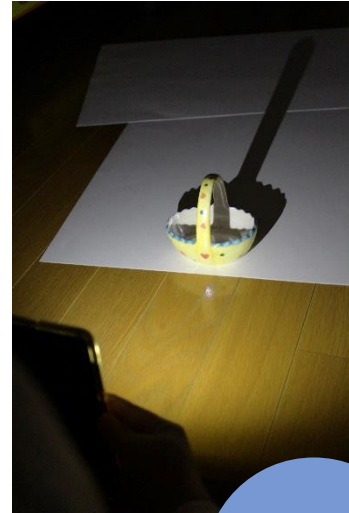
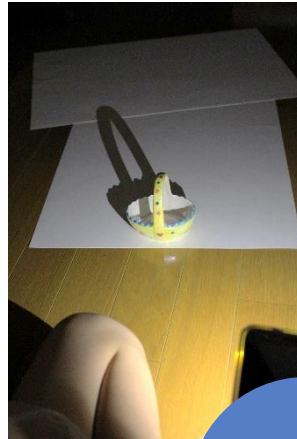
光を当てる対象や方法を試しながら、自分がおもしろいと思える影を見つけ、価値づけようとしている。

おうちの図工室・美術室

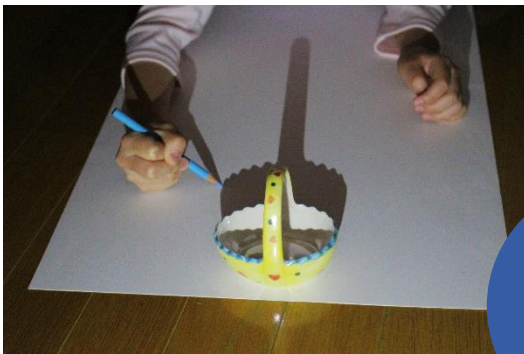
活動の足あと・子どものことば

使用した材料・道具

色画用紙、ライト、
色鉛筆



うわあ！
のびた！！



かげの形が
かわった！

一番
この形が
おもしろい！

もつところが長かったのでビックリしました。
なぜなら、思っていた長さよりも長かたからです。
楽しくなるように、いろんな色をつかてがらを書きました。

